

事業番号	15 01 02	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	ICT環境整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	教育政策課				
		実施期間	H30 ～	E-mail	kyoiku @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

生徒 1 人 1 台タブレット端末や電子黒板の整備等が進み、ICTを活用した教育環境が整う中、教職員のICT活用の底上げが進むところではあるが、教職員個人の技量に頼る部分があるため、持続可能な教育活動（教育内容）に繋がらないことがある。

2 事業目的

生徒 1 人 1 台タブレット端末を有効活用し、教育のICT化を加速させるため、教職員のICT活用力を向上させるとともに、個別最適な学び、協働的な学びを取り入れた探究的な学習スタイルによる授業を展開し、生徒の「問題発見・解決能力」「情報活用能力」を育成する

3 事業目的を達成するための取組

①教職員のICT活用のための環境整備	
・ 1 人 1 台端末による教育活動の円滑な運用を支えるため、GIGAスクール運営支援センターを設置し、障害発生時に素早く対応	
・ 統合型校務支援システムを活用して、教育情報を一元的に管理することで教員の業務改善を推進	
・ 小中学校の 1 人 1 台端末の計画的な更新を進めるための市町村向け補助を実施（事業見込みが当初を下回ったことにより減額）	

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	ICTを使って授業ができる教員の割合	%	90.0	91.6	↗	93.8	↗	94	未達成 「ICTを使って授業ができる教員の割合」を高めるため、令和 9 年度の目標を100%とし、令和 6 年度は94%を目標として設定

5 本事業が貢献する総合 5 か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近 3 か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	学校の教育活動全般に対する生徒(高校生)の満足度	%	2022 (R4)	85.3	2023 (R5)	84.4	2024 (R6)	85.2	2027 (R9)	84.3
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	☆「授業は、自分にあつた教え方、教材、学習時間になっていた」と答える児童生徒(小 6、中 3)の割合	%	2022 (R4)	81.1	2023 (R5)	84.2	2024 (R6)	81.9	2027 (R9)	81.1

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	845,386	△ 235,555	609,831	434,646	585,553	7.0
R5年度	0	474,908	188	475,096	464,949	467,185	7.0
R4年度	264,958	556,402	48,388	869,748	636,892	819,039	7.0

事業番号	15 01 02	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	ICT環境整備事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	教育政策課	

7 主な取組実績と成果

①教職員のICT活用のための環境整備

- ・1人1台端末による教育活動の円滑な運用を支えるため、GIGAスクール運営支援センターを設置し、県立中学・県立高校のICTに関する困りごとに素早く対応した（県立学校支援：サポート受付・障害受付393件、学校訪問・オンラインマンツーマン研修による支援375回）。
- ・統合型校務支援システムにより、教育情報を一元的に管理することで教員の業務改善を推進した（県立高校81校、県立中学2校）
- ・小中学校の1人1台端末の計画的な更新を進めるために、市町村向け補助を実施した（令和6年度9市町村）

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	ICTを使って授業ができる教員の割合	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
・GIGAスクール運営支援センターにおいて、1人1台端末による教育活動の円滑な運用を支えるため、県立学校のICTに関する困りごとに素早く対応する等の対応により教員のICT活用が進んでいるものの、ICTの活用があまり進んでいない学校もあり、そうした学校では実状に合わせたICTの活用に関する研修が行われなかったため、目標達成には至らなかった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・ICTを使って授業ができる教員の割合を増やしていくため、各校の実状に合わせた研修内容を企画することが必要である。
- ・ICTの利活用を促進するための基盤として、県立高校におけるネットワーク基盤の老朽化とGIGAスクール構想の実現に向けたICT環境が更新が必要である。
- ・教員のICT活用力向上を図るとともに、情報セキュリティに対するリテラシーの向上を図る必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・各校の実情を把握するために相談を行い、その結果を踏まえて複数の研修内容を用意し、各校の状況に応じたICT研修を実施する。
- ・ネットワーク更新に合わせて、ゼロトラスト化や教員の校務用端末と指導者用端末の1台化を研究するとともに、整備したICT機器が継続して使えるよう、更新にかかる費用等を計上し学びの継続を図る。
- ・引き続きICT教育推進センターの指導主事が、学校へ赴き、各校のICTを使うことに困っている教員の個別の相談に応じたり、学校全体で活用力の向上を目指すための校内研修の進め方について相談・支援を行うとともに、情報セキュリティ対策について最新の情報を提供し、安全・安心のもとICTを活用できる教員の育成を図る。

事業番号	15 01 02	細事業一覧（令和6年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	ICT環境整備事業費			部局	教育委員会事務局	課・室	教育政策課

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	探究学習のためのICT機器整備事業費		448,038 千円	98,817 千円	43,458 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	教育情報化推進のためのICT基盤整備事業	直接	県立高校において、生徒1人1台タブレット端末や電子黒板等を活用するため、電子黒板等の修繕、消耗品交換、リース等を実施した。		
			県立高校の授業用ICT機器の修繕、電子黒板のH29導入13校の再リース		
2	県立中学ICT環境整備事業 (生徒用1人1台端末整備)	直接	GIGAスクール構想加速化基金を活用し、令和元年度に整備した1人1台タブレット端末を更新した。		
			生徒端末92台分		
3	GIGAスクール運営支援センター配置事業	委託	県立高校・中学における1人1台端末環境による本格的な教育活動の運用を支えるため、障害発生時に素早く対応できる「GIGAスクール運営支援センター」を設置し、その業務を民間事業者に委託した。システム障害への対応支援のほか、機器やアプリの設定方法や活用方法などの様々な内容について、電話でのサポート対応や学校訪問等による支援を行った。		
			県立学校支援：サポート受付・障害受付393件、学校訪問・オンラインマンツーマン研修による支援375回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	高等学校普通科コンピュータ教室整備事業費		120,987 千円	117,847 千円	115,428 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	高等学校普通科コンピュータ教室整備事業費	直接	県立高校の普通科及び総合学科設置65校のパソコン教室にPC及び周辺機器を整備した。 県立高校65校に2,629台のPC及び周辺機器を整備（リース）		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	ICTを活用した確かな学力育成事業		180,318 千円	180,825 千円	208,070 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	データセンター機器及び学校機器の賃借、データセンター運用保守	直接 委託	県立高校においてICTを利用した授業に活用できるよう、基盤ネットワーク（データセンター、校内LAN設備及び利用料等）を整備し、運用保守を民間事業者に委託した。		
			県立高校83拠点、教員用PCへのMS365の導入		
2	指導者用タブレット端末整備の賃借	直接	指導者用タブレットをリースにより整備した。		
			指導者用タブレット端末618台		
3	・情報セキュリティ監査専門員配置 ・情報セキュリティ研修会	直接	情報セキュリティ監査専門員を配置し、情報セキュリティのリスク管理を行うとともに情報セキュリティ研修を実施した。		
			情報セキュリティ監査専門員1名配置、情報セキュリティ研修1回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	統合型校務支援システム導入事業		69,696 千円	69,696 千円	69,696 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	統合型校務支援システム導入事業	直接	教員の業務の効率化・軽減を図るため、全県立高等学校に統合型校務支援システムを運用した。		
			校務支援システム使用81校		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	G I G A基金1人1台端末整備事業		- 千円	- 千円	148,901 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	G I G A基金1人1台端末整備事業	直接	令和元年度に整備された小中義務教育学校における1人1台端末の計画的な更新を進めるため、端末の更新整備を行う市町村向けの補助を実施した。また、事業を円滑に実施するための共同調達会議運営等を行った。		
		委託			
		補助金	県内市町村計：9市町村 端末合計3,847台、会計年度任用職員：2名		